

「高い志」と「夢実現」のための教育の推進

本校は、県指定の進学指導重点校として、生徒の主体性を重んじ、チャレンジ精神を持って社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

そのため、生徒一人一人の可能性を最大限に引き出し、文武両道を目指しながら「高い志」を持って、自らの目標にチャレンジする教育を推進してまいります。普通科とデザイン科学科が互いに高め合うことができる環境の下で、生徒の夢の実現に必要な学力の向上に決意と覚悟を持って取り組んでいきます。また、異なる意見を持つ生徒の対話により考えを深めていく授業を展開して、多様性を尊重するSDGsの視点に基づき、地域の課題等に向き合う学習を推進してまいります。

校長 遠藤 均



令和3年度 「学校経営・運営ビジョン」 福島県立福島西高等学校

〔校訓〕

知性 徳性 健康

《 教育方針 》

教育基本法及び学校教育法の精神に則り、将来、社会の成員としてその進展に貢献する高い知性と優れた徳性を身につけた心身ともに健康な人間を育成する。

《 教育目標 》

- 1 自主的精神を培い積極的な態度で学習する習慣を養う。
- 2 勤労を尊び、社会的責任を重んずる精神を養う。
- 3 自他を愛し、社会と文化の発展に貢献する態度を養う。
- 4 礼儀を重んじ、明るく正しい生活態度を養う。
- 5 体力の増強に努め、健康で安全な生活習慣を養う。

I 授業力の向上と学習習慣の確立

1 授業力の向上

- ① チャイムと同時に授業を始め、チャイムとともに授業を終えることで、50分の授業の中で効果的に学習内容を定着させる。
- ② 習熟度別授業や課外授業を推進する。
- ③ 教員相互の授業参観を推進するとともに、外部研修を活用し、教員自らの授業力向上を図ることで、新たな大学入試に対応していく。
- ④ 問題検討会を充実させ、大学入試につながる定期考査問題の内容や難易度の改善を進める。
- ⑤ 模擬試験の分析結果を踏まえ、担任及び教科担当者が情報を共有し、学習内容の重点化等、授業の改善を図る。
- ⑥ 各教科の教師用マスタープランを活用することで、3年間を見据えた効果的な学習指導を行う。

2 学習意欲の向上と学習習慣の確立

- ① 朝自習を習慣化させるとともに、主体的で、能動的な学習習慣を身につけさせる。
- ② 予習・復習の重要性を理解させるとともに、課題を与えて家庭学習時間の十分な確保を図る。
- ③ 朝自習や授業内でオリジナル教材を活用し、大学入試に必要な基礎力を身につけさせる。
- ④ 保護者との連携を密にし、早期の進路目標の決定と進路意識の高揚を図る。

3 キャリア教育の充実

- ① 卒業生による合格体験講話等により学習方法を考えさせるとともに、学校行事「一日大学」や大学見学会、進路講演会をとおして、自らが歩むキャリアや働き方を見極めさせ、進路意識の早期高揚を図る。

4 生徒の発達段階に応じた面談の工夫

- ① 面接週間を契機として、生徒の学習・生活状況を把握し、キャリア発達に基づく出口を見据えた適切なアドバイスを行う。

II 心に響く生徒指導の実践

1 基本的な生活習慣の確立

- ① 教員・生徒ともに挨拶を励行する。
- ② 遅刻防止・服装頭髪の指導を徹底し、自律的で基本的な生活習慣を確立する。
- ③ 携帯電話の使用マナーを徹底するため、保護者の協力を得ながら生徒の自覚を促す。
- ④ 授業、特別活動、部活動とも生徒指導の最適な機会と捉え、共通理解に基づいた積極的な指導にあたる。

2 健康な心の育成

- ① 不登校や学校不適応等の兆候を早期に把握し、生徒指導部を中心として学年、教育相談部で情報の共有化を図るとともに、生徒や保護者との教育相談やカウンセリングを積極的に行う。

3 安全対策の推進

- ① 生徒が事件・事故等に巻き込まれぬよう、生徒指導部を中心に情報の共有化を図るとともに、メーリングシステムにより注意喚起の情報を適宜発信する。
- ② いじめアンケートの活用により、その兆候を早期に発見し、全職員が共通理解を持って対応する。

4 主体的、協働的な活動の育成

- ① 部活動や生徒会活動などで他者と協働しながら主体的に課題を解決する態度を育成する。
- ② 地域でのボランティア活動など、社会活動への主体的で協働的な参加を促し、自己肯定感や達成感、社会貢献心の高揚を図る。

III 魅力ある学校づくりの推進

1 保護者や地域、小・中学校との連携推進

- ① 新入生の移行期の教育活動に資するため、中学校との連携を密に図る。
- ② メーリングシステムを活用し、PTA総会、学年会、公開授業、進路講演会等への保護者や関係者の積極的な参加を促す。
- ③ 地域や中学校に、本校の魅力や教育活動を伝えるためホームページを充実させる。
- ④ 魅力的な学校案内を作成するとともに、高校説明会をとおして本校の魅力や特色を発信する。
- ⑤ 進学指導拠点校や他の進学指導重点校と連携しながら、探究的な学びや進学指導体制を強化する。

2 カリキュラムマネジメントの推進

- ① 生徒の進路希望の実現のためカリキュラムが効果的なものとなるよう常に検証・評価し、改善を図る。
- ② 新学習指導要領の実施に向けて教育課程の編成を進める。

3 教育活動環境の整備

- ① 教室内の整理・整頓、校舎内外の清掃を徹底し、学習に集中できる環境を整える。
- ② 施設・設備の点検や整備を常に行い、安全で安心して学ぶことのできる教育環境を整備する。

4 教職員による不祥事根絶

- ① 服務倫理委員会の活性化を図り、事例研究や不祥事防止チェックシート等の活用により、教職員に求められる使命感や倫理観を再確認し、不祥事を根絶する。